

第 55 回企画展

生活に使われた道具



平成 25 年 1 月 11 日 (金) ~ 3 月 30 日 (土)

岩手県立農業ふれあい公園
農業科学博物館

時代が変わっても暮らしに欠かせない衣・食・住。

自給自足を基本とした昔の暮らしは、大部分は地域でまかなえる物を素材として大切に扱われてきました。ほとんどの物を地元で確保し、その中から暮らしの技や知恵、作法など地域の特徴ある文化が育まれてきました。

伝統的な食べ物、料理法は、それぞれ独自の道具とむすびついています。住まいも、生活と生産そのものでありました。

衣類においては、麻の栽培や蚕の飼育によって、糸を紡ぎ、布を織って衣服を作り、着用してきました。住い方においても暖を取る道具や灯りとりなどからも物を大事にした暮らしの様子を知ることができます。

今回の企画展では、これら衣・食・住のくらしに使われた道具の展示と大根かて切りの体験など、昔の暮らしの知恵を学べる場を提供します。



岩手県立農業ふれあい公園

農業科学博物館

北上市飯豊3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)

入館料／一般290円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)あります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台